

第445回 大阪眼科集談会プログラム

主催：一般社団法人大阪府眼科医会

日時：〈ライブストリーミング配信〉

令和3年12月11日（土）14:00～17:00

〈オンデマンド配信〉

令和3年12月15日（水）～12月21日（火）

座長： 1-2 山本 学（大阪市大）、3-4 高橋 元（関西医大）、
5-6 山雄さやか（近畿大）、7-8 北口善之（大阪大）、9 田尻健介（大阪医薬大）

- 1 硝子体保護目的として後部硝子体を残して眼内異物除去を行った一例
○矢倉達弥、西田健太郎、西田幸二（大阪大）
- 2 Bモード所見が鑑別に有用であった硝子体血管系遺残(PFV)の一例
○寺尾美弥、森本 壮、下條裕史、河本晋平、西田幸二（大阪大）
- 3 最大容量の緑内障点眼中の症例にパターンレーザー線維柱帯形成術を施行後6か月の有効性についての検討
○渡邊愛子、上野洋祐、西野智之（大阪市大）、田町知子（泉大津市立病院）、小川翔吾、
本田 茂（大阪市大）
- 4 緑内障における多点刺激法を応用したタブレット型視野計Multi-Stimulate Visual field test (MVT)の有用性
○七部 史、石橋眞里佳、松本長太、野本裕貴、日下俊次（近畿大）
- 5 虹彩毛様体炎の再発時に、ステロイド点眼が奏功した脈絡膜肥厚を伴う原田病の一例
○田町知子（泉大津市立病院）、河野剛也、三澤宣彦、二瓶亜樹、田上瑞記、
本田 茂（大阪市大）
- 6 血管新生緑内障を両眼に発症したサルコイドーシスの一例
○堤 啓志郎、河本良輔、小林崇俊、根元栄美佳（大阪医薬大）、前田美智子（川西市）、
照林優也、田邊ゆき（大阪医薬大）、森下清太（大阪市）、喜田照代（大阪医薬大）
- 7 原発巣と転移巣で抗癌化学療法に対する異なる反応性を呈した転移性脈絡膜腫瘍の一例
○諏訪貴久、橋田徳康、丸山和一、浅尾和伸（大阪大）、宮澤宏輔（大阪急性期・総合医療センター）、
西田幸二（大阪大）
- 8 トリアムシノロンアセトニドの直視下散布で軽快したと考えられた眼窩動静脈奇形の一例
○泉谷祥之（大阪医薬大）、三村真士（第一東和会病院）、佐藤陽平、藤田恭史、
喜田照代（大阪医薬大）
- 9 トシリズマブによるparadoxical reactionをきたした成人Still病の一例
○大庭慎平、佐々木香る、田中万理、嶋 千絵子、山田晴彦、高橋寛二（関西医大）

〈特別講演〉 座長：江口 洋先生（近畿大学）

「実践 角膜クリニック」 白井智彦先生（国際医療福祉大学）

会費：1,500円

講演時間：7分 討論：3分

抄録：400字以内 発表2週間前までに大阪眼科集談会係へ電子メールで送付して下さい。

次回集談会：令和4年2月 5日（土）毎日新聞 オールホール

演題締切：令和4年1月15日（土）全てデジタル一面で行います。

演題応募先：近畿大学医学部眼科学教室「大阪眼科集談会」係 担当 堀田芙蓉香

E-mail:ganka_renraku@med.kindai.ac.jp

〒589-8511大阪狭山市大野東377-2 TEL 072-366-0221/FAX 072-368-2559